

平成29年度地域連携安全・安心推進事業  
被災地視察実施要項

1 趣 旨

安全で安心な社会づくりに参画することの意義について、支援者となる視点から学ぶための防災教育を推進するため、自然災害の被災地の実情を見聞することを通じた実践的教育活動を実施する。

子どもや教諭等および地域の関係者が一緒に被災地を視察することにより、東日本大震災の教訓の一つでもある地域連携をより充実したものとする。

2 主 催

文部科学省 秋田県教育委員会

3 訪問先（宮城県石巻市）大川小学校跡地～石巻市内～門脇小学校跡地

訪問先について

（大川小学校）

海岸より約5kmの距離にあり、新北上川沿いに立地していた。

2011年（平成23年）3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に伴う津波が地震発生後およそ50分経った15時36分頃、三陸海岸・追波湾の湾奥にある新北上川（追波川）を遡上し校庭に到達、児童74名と、教職員10名が死亡した。

学校の管理下にある子どもが犠牲になった事件事故としては戦後最悪の惨事となった。

小学校近隣にいた釜谷地区住民等：232人中181人が死亡

学校の標高 約1m

（門脇小学校）

海岸から約1kmの距離にあった。

東日本大震災により3階建て校舎の1階は津波で被災し、2、3階は火災で延焼した。車やプロパンガスのボンベが津波で流され、がれきに引火したとみられる。「津波火災」の痕跡がそのまま残っているのは珍しいという。

震災では在校していた224人の児童は全員無事であったが、既に下校していた児童のうち7名が死亡した。

小学校近隣にいた住民等：400人を超す住民が死亡

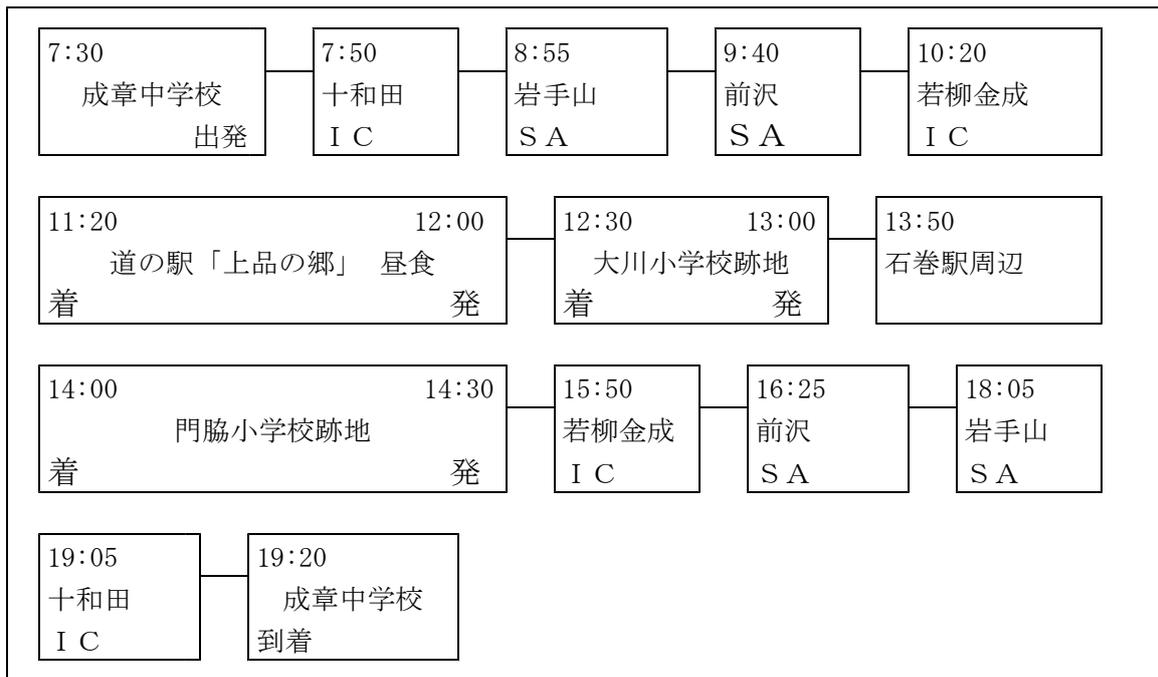
学校の標高 約5m

石巻市

東日本大震災により、関連死、行方不明者を含め、4,000人近い犠牲者となった。

全壊家屋数：22,357棟

4 実施計画・日程 平成29年8月8日(火) [日帰り]



5 参加者(37名) ※名簿は別に作成

- ①大館市教育委員会(1人)
- ②成章小児童(13人)、成章中学生(13人)、③引率教員等(6人:小3・中3)
- ④保護者(2人)、⑤秋田県教育庁保健体育課課員(2人)

6 視察内容について 現地語り部からの説明を受けながら震災遺構を視察する。

7 旅費 旅費は秋田県教育庁保健体育課にて負担する。

- 8 食事 昼食等については各校または各自で準備する。車中でもアルコール以外の軽い飲食は可能です。  
 ※昼食場所となる、道の駅「上品の郷」のコンビニやレストランも利用できます。  
 滞在予定は約40分です。平日ではありますが混雑も予想されますので、事前に御準備される事をおすすめします。

9 災害時の対応等

避難所への避難等、移動中の災害時は同行の保健体育課職員の指示に従ってください。施設内での避難は原則として施設職員の誘導に従います。沈静後の安否確認はバス待機場所とします。

(緊急時連絡先)

- 秋田県教育庁保健体育課 防災教育・安全班 018-860-5204
- 大館市教育委員会 学校教育課 0186-43-7112
- 成章中学校 0186-52-3022 ○成章小学校 0186-52-2818

10 その他

- ・主催者側で参加者全員を傷害保険に加入します。
- ・習慣的な疾病をお持ちの方は、薬等を御持参ください。
- ・参加者には県が主催する研修会等で報告を行ってもらう場合があります。